



安城市少年少女発明クラブ 新規クラブ員募集



申込日時・場所 **12/20(日) 10:00~12:00**

へきしんギャラクシープラザ(文化センター)1階 講座室にて受付(先着順)
年会費を添えてお申し込みください。(おつりのでないようにご協力ください。)

活動内容 紙やダンボールを使ったものづくりの基本や、木工材料の加工方法、電気・電子の基礎を学び、自分のアイデアを作品にします。

学校提出作品や「創意くふう展」出展作品を製作する夏休み創作教室(自由参加)もあります。

対象 市内在住の小学3年生~中学生(令和3年4月1日時点)
定員 各学年40名(4年生以上は進級クラブ員と合わせての定員となります。)
※4年生以上の新規クラブ員の募集人数は申込み当日会場内に表示します。

活動期間 令和3年4月~令和4年2月(年間10回程度)

年会費 年間 6,000円 (内訳:会費2,000円 教材費4,000円)

※夏休み創作教室の材料等は個人で準備をお願いします。

拠点	中部公民館		桜井公民館		西部公民館		へきしんギャラクシープラザ					
学年	3年	4年	3年	4年	3年	4年	5年	6年生	中学生			
定員(名)	16	※16	12	※12	12	※12	※20	※20	※20	※20	※20	※20
曜日	第1土曜日		第2土曜日		第3土曜日		第1土曜日		第2土曜日		第3土曜日	
時間帯	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午前	午後	午前	午後	午前	午後

(注) 定員の※印数字は進級クラブ員と合わせての定員数

指導員募集

子どもたちのものづくりを手伝っていただける指導員を随時募集しています。
技能・経験は問いません、女性の方も歓迎です。事務局へご連絡ください。

協賛・寄付を募集

発明クラブの活動に協賛・寄付して頂ける企業団体・個人を募っております。
ご支援をいただける企業団体・個人の方は事務局へご連絡ください。

問い合わせ 安城市少年少女発明クラブ事務局(へきしんギャラクシープラザ内)
TEL・FAX 77-3376 Eメール anjyou-hatumei@katch.ne.jp
(電話での問い合わせは土・日・月曜日を除く9:00~12:00)
生涯学習課 TEL 76-1515

Fabものづくり講座

申し込み

11/1(日)13:00~11/12(木)17:00までに市公式ウェブサイト「Fabものづくり講座」のページまたはQRコードから申込み。



・抽選結果は11/13(金)13:00以降に生涯学習課へお問い合わせいただくか、11/13(金)16:00以降に市公式ウェブサイトに掲載される抽選結果を以下からご確認ください。

望遠郷 → 総合メニューから探す → 学ぶ → 生涯学習事業 → 公民館講座
→ 令和2年度Fabものづくり講座抽選結果

更新前のデータが表示されることがあります。ページを再度読み込んで、最新のものをご確認ください。

- ・当選者は11/20(金)17:00までに参加費をお支払いください。
- ・期日までに手続きがなされない場合、落選された方へ抽選のうえご案内をします。当選した方は必ず手続きをしてください。
- ・定員に達しなかった講座は11/13(金)以降電話で申込みを受付します(先着順)

問い合わせ

生涯学習課(へきしんギャラクシープラザ内)76-1515



レーザー加工機で
クリスマスツリーを作ろう
※写真は完成例です。

レーザー加工機でランプを作ろう

レーザー加工機を使って、クリスマスにぴったりな卓上ランプを作ります。講座終了後にレーザー加工機の一般利用カードをお渡しします。

日時 12/6(日) 13:30~15:30 対象 市内在住・在勤・在学の18歳以上
会場 へきしん ギャラクシープラザ 定員 6名
参加費 1,500円(材料費込み)
講師 デザイングループ A☆cuore

レーザー加工機でクリスマスツリーを作ろう

3DCADシステムのFusion360®でデータを作成し、レーザー加工機で実際に出力します。2枚の板を組み合わせることで写真のような立体的なクリスマスツリーを作ることができます。講座終了後にレーザー加工機の一般利用カードをお渡しします。

日時 12/9(水) 14:00~16:00 対象 市内在住・在勤・在学の18歳以上
会場 へきしん ギャラクシープラザ 定員 6名
参加費 300円(材料費込み)
講師 安城市少年少女発明クラブ



ホームチームへ熱い応援を!



デンソーブライトペガサス(北部公民館)



アイシン・エイ・ダブリュ ウィングス(桜井公民館)



GTRニッセイ(明祥プラザ)

安城市には日本リーグなどで活躍する全国トップレベルの企業チームが3チームあります。

- ・デンソーブライトペガサス(女子ソフトボール)
- ・アイシン・エイ・ダブリュ ウィングス(女子バスケットボール)
- ・GTRニッセイ(男子軟式野球)

各チームの本拠地に近い市内3か所の公民館にPRコーナーを設置しました。コーナーにはチームから提供されたユニフォームなどが展示されています。

デンソーブライトペガサスのコーナーは北部公民館にあり、監督も立ち寄りました。日本代表として世界と戦った川畑選手のサイン入りバットが飾られています。デンソーレッドの名前にふさわしく、赤で統一された展示コーナーをぜひご覧ください。

アイシン・エイ・ダブリュ ウィングスのコーナーは選手もよく訪れる桜井公民館にあります。ここではボールや色紙、Tシャツに書かれた選手のサインを展示! ルーキーの選手は、何度も練習して書いてくれたそうです。

GTRニッセイのコーナーは明祥プラザにあります。創部から60年以上の伝統あるチームで国体や天皇杯で優勝したときのトロフィーや、選手と一緒に戦った愛用のグローブが並んでいます。

各コーナーには選手の紹介パネルが設置されています。監督・コーチからの熱いメッセージもありますのでご覧ください。

ぜひ、ホームチーム3チームの応援をお願いします!

問い合わせ スポーツ課(東洋アリーナ安城内)75-3535

曲がった道の先に — 名鉄安城支線 —

地図で、JR 東海道本線と名鉄西尾線が交差するあたりをみると、JR 安城駅と名鉄南安城駅をつないでいるような道があります。かつて、この道沿いを電車が走っていたのをご存じですか。



安城支線の位置
※点線の左端に専用のホームがありました。

安城支線ってなんだ

昭和 14 年 (1939)、碧海電気鉄道が南安城駅と国鉄安城駅を結ぶ 1.1 キロメートルの短い区間に貨物専用の連絡線を敷設したことから安城支線は始まります。積荷は綿布、繭、肥料などが運ばれたようです。このとき国鉄安城駅側へ新設された駅名は「新安城」でした。

昭和 25 年 (1950)、第 5 回国民体育大会（国体夏季）が愛知県で開催されることが決まると、安城公園競技場がソフトボール大会の会場になります。旧安城町は国鉄、名鉄に陳情をくりかえし、駅周辺施設の改善を求めました。また旧桜井村、旧明治村、旧幡豆郡西尾町と共同で各社と交渉を進めると、名鉄南安城駅から国鉄安城駅への乗り入れが準備され、名鉄は国体関係者の輸送を目的に、臨時で 5 日間だけ安城支線の旅客営業を行いました。

翌年の昭和 26 年 (1951) 3 月、安城支線の旅客営業が本格的に始まりました。駅は国鉄安城駅との共同使用となり、新安城の駅名はなくなります。



電車からバスへ

そんな安城支線も、今では廃線となっています。ではなぜ無くなってしまったのでしょうか。当時は全国的にバスの路線が発達し、必然的に鉄道のライバルになりました。収入増加の見込みが薄い路線については徐々に廃止され、バスに切り替えられていきました。安城支線も昭和 36 年 (1961) 7 月 30 日に廃止、バスに切り替えられました。



かつて安城支線がカーブしていた付近
※この道の右側に沿って線路が敷かれていました

安城支線の面影

名鉄南安城駅から線路の高架に沿って北へ歩いてみると、道路が西へ大きくカーブしています。JR の線路に沿ってそのまま進むと、JR 安城駅にたどりつきます。この途中を横切る追田川の石垣にはさまれて、コンクリートの橋台（橋を支える基礎）が見えています。これがわずかに残る安城支線の痕跡です。



橋台（東から撮影）

支線走る電車の車窓には、かつてどんな風景が広がっていたのか、そんなことを考えながら廃線跡を散歩するのはいかがでしょうか。

安城市案内図

昭和 27 年 (1952)、市制施行の翌年に安城市役所が発行した『安城の姿』（安城市歴史博物館所蔵）に付属する資料です。安城支線や国体の会場となった競技場（現在の市役所や市民会館が建つあたり）をはじめ、当時のランドマークや名産品などが描かれています。また案内図にはバス路線も示されており、国鉄安城駅から伸びている点線のひとつは名鉄今村駅、現在の名鉄新安城駅にたどり着きます。

問い合わせ 文化振興課（歴史博物館内） 77-4477

染織工芸の技

展示作品の一部が
カラーでご覧いただけます



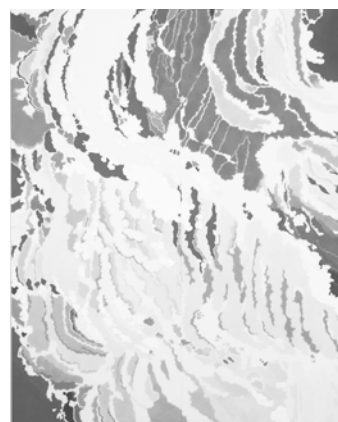
問い合わせ

文化振興課（市民ギャラリー内）
77-6853

今回の企画展「染織工芸の技」では、染色や織による工芸作品を制作する市内在住の 4 人の作家（平松弘子、加藤伴子、伊与田利江、大参富士子）の作品を展示します。

織物は、経糸と緯糸を交差させて作る布地ですが、糸の種類は、綿、絹、毛、麻などがあります。奈良時代には、西洋や中国の技術が伝わり品質の高い絹織物が作られました。江戸時代には繭を作る蚕の飼育が進み、各地で絹織物が発展します。明治時代になると、大型の織機が輸入され織物が工業化されます。経糸と緯糸の組み合わせ方には、平織、綾織、縞子織、振織の 4 種類があり、これを組み合わせで様々な文様が生まれます。

染色は糸や綿、麻などの生地に染料を染み込ませる技法で、糸の段階で染める絣などの様な先染めと、布を織ってから染色する後染めがあります。後染めを大きく分類すると、生地を染料に漬ける浸染と布に模様などをプリントする捺染があります。また、染料には天然染料と化学染料があり、後染めの技法には友禅染め、



加藤伴子《花やかにしだれ》

ろうけつ染め、型染め、絞り染めなどがあります。縄文時代には草花や木皮、土などを布に直接こすりつける「摺り染め」を利用したといわれています。奈良時代には「天平の三纈」という防染方法に由来する染色技術が大陸からもたらされます。江戸時代には「糊防染」という染色方法が生まれ、やがて「友禅染め」へとつながる細かな模様が付けられるようになりました。明治時代以降は、海外から化学染料が輸入されます。化学染料は色数が多く発色が鮮やか、そして色落ちしにくく、品質が一定であるという特性があります。一方、天然染料では植物性、鉱物性、動物性の 3 種類の色素成分を利用するため、手間はかかりますが体に安全であり、天然成分独特の色が表現できます。植物系では「藍染め」が代表的で、近隣では日本遺産に認定されている「有松・鳴海絞」があります。絞り染めによる凹凸の肌触りから、浴衣に多く使用されています。

歴史や伝統の上に技術革新など、今日まで染織の技術も様々に変化してきました。今回紹介する 4 人の作家も、それぞれが素材の選択、染料の種類、織の技法など日々試行錯誤を繰り返し、独自の表現する世界へと開花させています。染織工芸の魅力をより身近に感じていただける機会となることでしょう。

1/29(金)~2/13(土)9:00~17:00(最終日は16:00まで)
月曜休館
市民ギャラリー 展示室D・E 観覧無料

文化の花園にようこそ

市民交流事業（富山県砺波市）

平成 24 年にはじまった安城文化協会と砺波市文化協会の文化交流は、8 年目を迎えました。主な内容は、文芸誌・砺波市「散居村」、安城市「安城文学」「明治川」などでの短歌や俳句等の相互寄稿、吟行会の開催などの相互訪問です。また、文協祭美術展と砺波市美術協会美術展で交流展示を行っています。その他にも、定期的に民謡など芸能部門の交流を活発に行っています。

昨年 11 月、デンパークで行われた協会交流「吟行会」の答礼として安城市が砺波市へ出向いて行う予定だった今年の「吟行会」は、新型コロナウイルス感染症の流行で中止になりましたが、会員一同交流事業の再開を誓い、早期終息を待っています。

交流事業が再開されたときには、皆さんもぜひご覧ください。



連絡先 安城文化協会事務局 74-6066

問い合わせ

文化振興課
（市民ギャラリー内） 77-6853
安城文化協会事務局 74-6066

文化グループ紹介 芸能（箏曲）鈴木会

鈴木会は昭和 45 年に発足しました。今年で 49 年になります。現在は、師匠宅での練習及び公民館での自主クラブ活動を中心に、小学校・高校の箏クラブ指導や行事への参加などを行っています。発表の場としては春の文協祭芸能まつり、夏の安城七夕まつり、秋の市民芸能まつりに参加し演奏することです。その他、地域の公民館や幼稚園で行われる行事にも参加しています。

地域貢献活動としては老人施設でのボランティアによる演奏、学校での体験学習などを行っています。

箏に関心のある方や入会を希望される方、体験（見学）を希望される方は、気軽にご連絡ください。



連絡先 水谷 74-7295

「文化の花園にようこそ」のコーナーは今回をもちまして終了となります。今後の安城文化協会のイベントやグループ紹介は、本誌講座・イベントガイド、公民館設置のチラシ等でお知らせいたします。長年にわたりご愛読いただき、ありがとうございました。



「あんてな」では
AR (拡張現実) という技術を使っています
マークがある紙面に
かざしてください



① AR

あんてな紙面にかざしてARで情報を閲覧できます



かざす対象の号をタップ



アイコン記載のページにかざすとARが表示されます

② 最新号

最新号のあんてな

③ WEB 申込

WEB 申込可能な生涯学習講座の一覧
(講座を選択することで申込サイトにアクセスします)

④ 公民館講座

抽選結果など講座に関するお知らせ

⑤ プラネタリウム

プラネタリウム投映情報

⑥ FabSpace

FabSpace の機器利用案内や講座情報など

⑦ 施設案内

市民交流施設などの一覧情報

⑧ あんてな

最新号及びバックナンバー

⑨ AR マップ

主要な駅等 AR 画面の閲覧

⑩ お知らせ

プッシュ通知の履歴と詳細

⑪ 使い方

アプリの使い方

AR Augmented Reality 拡張現実

AR とは、スマートフォンやタブレット端末を介して画像・動画などを現実の風景と重ね合わせて表示させる技術です。

あんてなアプリダウンロード

- ※ スマートフォン・タブレットのスペック及び通信環境等により正常に動作しない場合がございます。
- ※ このアプリの利用は無料ですが、ダウンロードや閲覧などにかかる通信費は、利用者の負担になります。
- ※ スマートフォンやアプリの不具合などについては市では対応しかねますのでご了承ください。



あんてな 2020 夏号から配布方法を変更しました

① 生涯学習情報誌あんてな (概要版)

広報あんじょう (7月号、9月号、11月号、4月号) 折り込みで市内全戸にお届けします。概要版には、公民館などで行われる講座・イベントの日時・場所などを掲載します。

② 生涯学習情報誌あんてな (冊子版)

市内公共施設 (へきしんギャラクシープラザ、地区公民館など) で配布します。

これまでの「あんてな」と同じく、概要版より詳しい講座・イベントの内容やコラムを掲載します。(具体的な配布場所につきましてはお問い合わせください。)

- 今後、新型コロナウイルス感染症の影響により、あんてな (概要版) の発行時期の変更やあんてな (冊子版) の発行を中止する場合があります。

安城市ホームページ (望遠郷) からご覧いただくことができます。
QRコードまたは以下からご覧ください。

望遠郷 → 総合メニューから探す
→ 学ぶ → 生涯学習事業 →
生涯学習情報誌「あんてな」



これからも「あんてな」をよろしくお願いいたします。

問い合わせ 生涯学習課 (へきしんギャラクシープラザ内) 76-1515